



2019年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月2日

上場会社名 アヲハタ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2830 URL http://www.aohata.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 範雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営本部長 (氏名) 矢萩 直秀 TEL 0846-26-0111
 四半期報告書提出予定日 2019年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第1四半期の連結業績（2018年12月1日～2019年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第1四半期	4,715	△8.8	△11	—	△16	—	△29	—
2018年11月期第1四半期	5,171	0.2	257	20.4	266	23.6	185	41.0

(注) 包括利益 2019年11月期第1四半期 △13百万円 (—%) 2018年11月期第1四半期 153百万円 (△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第1四半期	△3.60	—
2018年11月期第1四半期	22.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第1四半期	18,735	11,970	63.9
2018年11月期	16,955	12,058	71.1

(参考) 自己資本 2019年11月期第1四半期 11,970百万円 2018年11月期 12,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2019年11月期	—	—	—	—	—
2019年11月期 (予想)	—	9.00	—	11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年11月期の連結業績予想（2018年12月1日～2019年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	△4.0	650	△31.8	674	△32.1	480	△24.7	57.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年11月期 1 Q	8,292,000株	2018年11月期	8,292,000株
2019年11月期 1 Q	13,922株	2018年11月期	13,922株
2019年11月期 1 Q	8,278,078株	2018年11月期 1 Q	8,078,383株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2019年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、「フルーツのアヲハタ」をテーマとして、5つの経営方針「ジャム・スプレッド事業の盤石化」、「産業用事業での新たな成長モデルの構築」、「海外(中国)成長市場への本格参入」、「新フルーツカテゴリーの創造」、「一人ひとりが挑戦し成長できる企業風土の創造」のもと、取り組みを進めております。

売上につきましては、ジャムやホイップ・スプレッド類については好調に推移しましたが、調理食品類におけるパスタソース類をキューピー株式会社に移管したことなどにより、売上高は47億15百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

利益につきましては、調理食品類の移管にともなう売上高が減少したことに加え、労務費などのコスト増加や広告宣伝費が前倒して発生したことなどにより営業損失は11百万円(前年同四半期は営業利益257百万円)、経常損失は16百万円(前年同四半期は経常利益266百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は29百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益185百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億80百万円増加し187億35百万円となりました。資産の増減の主な要因は、商標権の増加20億55百万円、有形固定資産のその他(純額)の増加2億31百万円、現金及び預金の減少2億97百万円、受取手形及び売掛金の減少3億66百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億68百万円増加し67億65百万円となりました。負債の増減の主な要因は、短期借入金の増加9億85百万円、長期借入金の増加16億42百万円、支払手形及び買掛金の減少3億89百万円、未払金の減少3億36百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し119億70百万円となりました。純資産の減少の主な要因は、利益剰余金の減少1億4百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月10日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,273,117	975,953
受取手形及び売掛金	3,769,055	3,402,627
商品及び製品	1,668,040	1,751,729
仕掛品	45,318	52,097
原材料及び貯蔵品	2,728,187	2,716,339
その他	177,268	277,630
貸倒引当金	△19,178	△2,760
流動資産合計	9,641,810	9,173,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,917,753	1,900,333
機械装置及び運搬具(純額)	2,247,502	2,219,118
土地	1,374,714	1,376,212
その他(純額)	430,755	662,270
有形固定資産合計	5,970,725	6,157,935
無形固定資産		
商標権	1,038	2,056,719
その他	335,633	317,405
無形固定資産合計	336,671	2,374,125
投資その他の資産		
投資有価証券	227,552	224,685
その他	781,941	808,795
貸倒引当金	△3,400	△3,220
投資その他の資産合計	1,006,093	1,030,261
固定資産合計	7,313,490	9,562,322
資産合計	16,955,301	18,735,940
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,858,955	1,469,685
短期借入金	200,000	1,185,852
未払金	788,122	451,342
未払法人税等	158,444	53,544
売上割戻引当金	6,081	19,914
賞与引当金	23,883	166,613
役員賞与引当金	—	1,853
その他	331,399	242,864
流動負債合計	3,366,887	3,591,670
固定負債		
長期借入金	1,000,000	2,642,685
退職給付に係る負債	466,368	470,155
資産除去債務	59,635	59,697
その他	3,802	802
固定負債合計	1,529,805	3,173,340
負債合計	4,896,693	6,765,010

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	915,100	915,100
資本剰余金	1,305,894	1,305,894
利益剰余金	9,792,506	9,688,161
自己株式	△15,760	△15,760
株主資本合計	11,997,740	11,893,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,577	25,392
繰延ヘッジ損益	4,852	8,654
為替換算調整勘定	△20,619	△6,386
退職給付に係る調整累計額	50,057	49,873
その他の包括利益累計額合計	60,867	77,534
純資産合計	12,058,608	11,970,930
負債純資産合計	16,955,301	18,735,940

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年12月1日 至 2018年2月28日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年2月28日）
売上高	5,171,073	4,715,795
売上原価	3,803,411	3,552,130
売上総利益	1,367,661	1,163,665
販売費及び一般管理費	1,110,141	1,175,366
営業利益又は営業損失（△）	257,520	△11,701
営業外収益		
受取利息	647	596
受取配当金	1,693	1,595
受取賃貸料	5,449	5,507
為替差益	817	—
その他	5,206	1,651
営業外収益合計	13,814	9,350
営業外費用		
支払利息	789	2,383
賃貸費用	4,173	2,842
固定資産除却損	128	2
為替差損	—	2,687
固定資産廃棄損	—	6,410
その他	58	6
営業外費用合計	5,149	14,330
経常利益又は経常損失（△）	266,184	△16,681
特別利益		
投資有価証券売却益	26,394	—
特別利益合計	26,394	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	292,579	△16,681
法人税、住民税及び事業税	124,911	48,996
法人税等調整額	△15,172	△35,835
法人税等合計	109,739	13,160
四半期純利益又は四半期純損失（△）	182,840	△29,841
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2,463	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	185,303	△29,841

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	182,840	△29,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,434	△1,184
繰延ヘッジ損益	△12,245	3,802
為替換算調整勘定	△825	14,233
退職給付に係る調整額	3,696	△184
その他の包括利益合計	△29,808	16,666
四半期包括利益	153,032	△13,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,338	△13,174
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,306	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。